

2018（平成30）年度

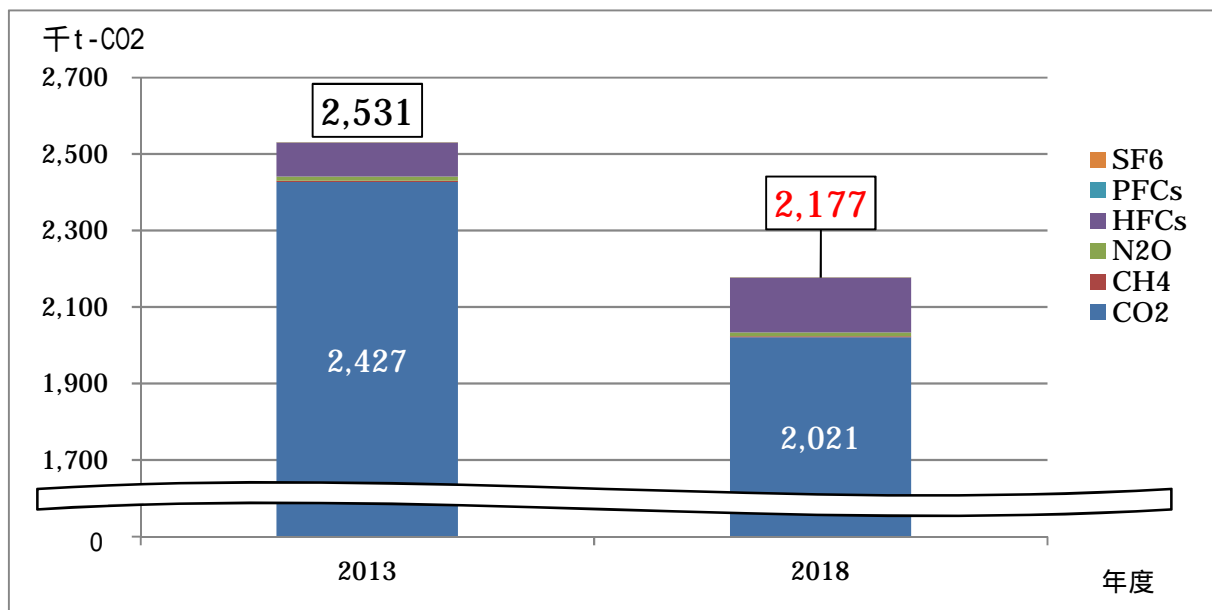
江戸川区全体における温室効果ガス及び二酸化炭素排出量

2018（平成30）年度において、江戸川区全体で排出された温室効果ガス排出量は、217万7千トンでした。第2次エコタウンエドがわ推進計画の基準年となる2013（平成25）年度の温室効果ガス排出量から、14%の排出量削減となりました。

温室効果ガス排出量

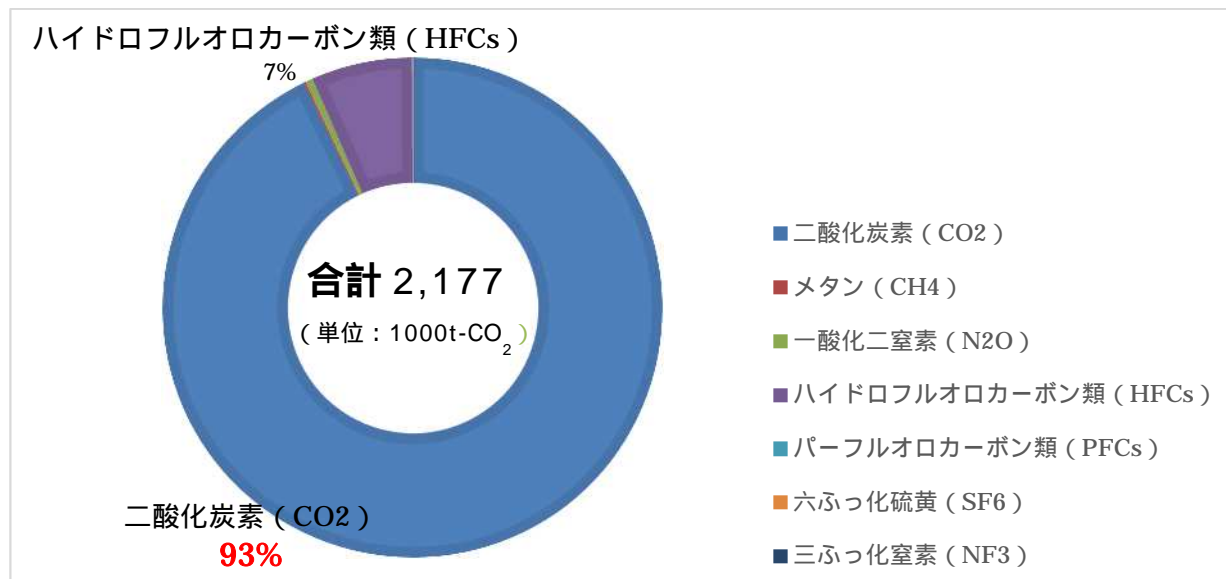
単位：千トン

年度	基準年 2013	2018
二酸化炭素 (CO ₂)	2,427	2,021
メタン (CH ₄)	3	3
一酸化二窒素 (N ₂ O)	11	10
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	88	142
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0	0
合計	2,531	2,177



また、2018（平成30）年度に排出された温室効果ガス排出量の種類別の割合は下記のとおりです。

温室効果ガス種類別の排出量割合



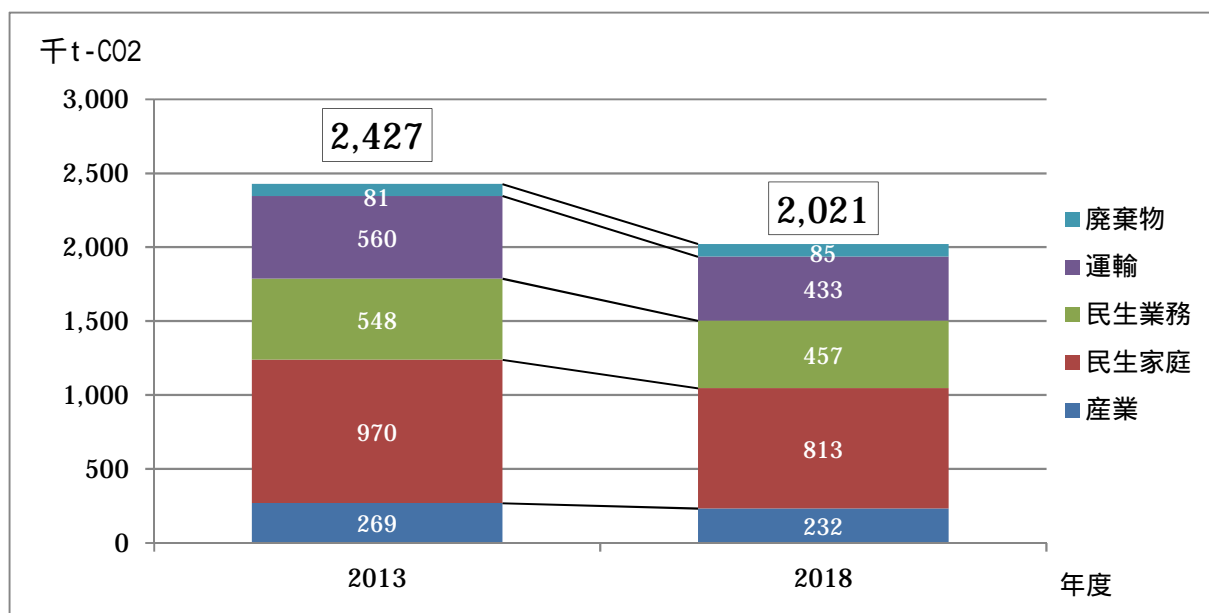
二酸化炭素の排出量は202万1千トンで、温室効果ガス排出量全体の約9割を占めています。次に、ハイドロフルオロカーボン類の排出量が多く、温室効果ガス排出量全体の約7%で、排出量は14万2千トンでした。

続いて、区の温室効果ガス排出量の約9割を占める二酸化炭素排出量の部門別の推移は下記のとおりです。

二酸化炭素排出量

単位：千トン

年度	2013	2018
廃棄物	81	85
運輸	560	433
民生業務	548	457
民生家庭	970	813
産業	269	232
合計	2,427	2,021
区民1人当たり	3.6ト	2.9ト
電力のCO ₂ 排出係数 [kg-CO ₂ /kWh]	0.522	0.464



電力については、各年度の二酸化炭素排出係数を使用して算出しています
端数を四捨五入しているため、合計値やパーセンテージ等が合わない場合があります。

江戸川区を含む東京 62 市区町村の二酸化炭素排出量の集計は、統一的手法で行われており、当該年度の統計データを待って翌年から集計作業を行っているため、最新の集計データが 2 年前のものとなります。